

狭山市立柏原小学校 ICT 授業実践例

1 ジャンル

小学校1年生

生活

C1 発表や話し合い

児童生徒

2 概要

家の人にやってもうことばかりでなく、自分もできることはないか仕事を探して、1週間取り組んでみる。その結果、仕事のコツや家族の思いを理解し、さらに今後も家族のためにお手伝いを続けていこうという思いを育てる。

単元(題材)名

じぶんで できるよ(じぶんでできることをしよう)

単元(題材)目標

自分が家庭で役割を果たしている姿を思い描きながら、家で取り組むことを決め、家の人にはそれぞれ果たしている仕事や役割があることに気付き、自分の役割を果たそうとすることができるようにする。

活用したICT機器、アプリケーション等

児童用タブレット、SKYメニュークラウド、写真、動画

本時のめあて

家で取り組んだことを、写真や動画と説明などで友達に伝えあう。

写真・記録



本時の展開の概要

家で取り組んできたことをタブレットで撮影してきた動画や写真を用いて、クラスの友達に伝えあう。

ICT機器の活用でねらった効果

取り組んできたことを、映像で観せることでより詳しく理解してもらえる。
説明を聞いた児童が自分も次にやってみたいと思えるようにする。

児童生徒の様子(成果や課題)

操作も自分でできるようになっているので、紙での発表と同じようにできた。また、動画は臨場感がありお手伝いのやり方やコツ、様子が友達に良く伝わった。「楽しそう」、「上手だね」などの声もあがり、有意義な発表会になった。
家庭で撮影してもらったので、保護者にも端末がどのようなものか知ってもらう機会にもなった。

狭山市立柏原小学校 名前: